

2025年度 長岡大学シラバス

授業科目名	世界経済論 (Global Economy)					担当教員	広田 秀樹 (ヒロタ ヒデキ)	
2020-23年度 入学者(20K-23K)	科目コード	科目区分	必修・ 選択区分	単位数	配当年次	開講期	科目 特性	知識定着・確認型AL
	2036-0-33-083	専門科目	選択	2単位	3年次	後期		
2024-25年度 入学者(24K-25K)	科目コード	科目区分	必修・ 選択区分	単位数	配当年次	開講期	科目 特性	知識定着・確認型AL
	2436-0-33-022	専門科目	選択	2単位	3年次	後期		

① 授業のねらい・概要
世界経済の本質を見抜く思考力を身につけるため、世界経済の多様な側面を学習する。第1に貿易収支、対内直接投資残高等の世界経済を分析するツールを学習し、第2に世界の各エリアをグローバル化のメリット吸収という視点を中心に学び、第3に世界経済の大局的動向や秩序について国際政治の要素も考慮しながら学習する。授業内容は上級レベルである。
② ディプロマ・ポリシーとの関連
専門的知識・技能を活用する能力を育成する授業
③ 授業の進め方・指示事項
広範な専門知識、情報を紹介しながらも、独自で深く考え本質を見抜く思考力を育成するため、頻りに質問し意見を求め、討論を促すような授業を行う。活発な発言をすること。
④ 関連科目・履修しておくべき科目
マクロ経済学・ミクロ経済学・国際経済学
⑤ テキスト(教科書)※授業で使用する。
学習資料を配布する。
⑥ 参考図書・指定図書 ※授業では使用しないが、授業内容に関係し、理解を深めるために必要とする。
山本和人・島谷一生(2023)『世界経済論-変容するグローバル化』(第2班) ミネルヴァ書房
⑦ 担当教員からのメッセージ(昨年度授業アンケートを踏まえての気づき等)
世界経済の現状を冷静に把握しながら、現象の奥にある本質を見抜き、独自の考えを提示し、さらに提案できるような高度な思考力が身につくような授業を目指す。
⑧ 評価Aに対応する具体的な学習到達目標の目安
(i) 世界経済の全体像が理解できる。 (ii) 世界経済を変化させるファクターの詳細が理解できる。 (iii) 世界経済の未来について考え、独自の思考から多様な提案ができる。

⑨ ルーブリック					
評価基準	S	A	B	C	D
評価項目	到達目標を越えたレベルを達成している	到達目標を達成している	到達目標達成にはやや努力を要する	到達目標達成には努力を要する	到達目標達成には相当の努力を要する
(i) 世界経済の大局的把握	世界経済の大局的把握に関して、資料等に頼らず説明でき、授業内容を越えた学修成果を示している。	世界経済の大局的把握に関して、資料等に頼らず説明できる。	世界経済の大局的把握に関して、資料等を参照しながら説明できる。	世界経済の大局的把握に関して、資料等を参照しかつ教員等の支援を得て説明できる。	世界経済の大局的把握に関して、資料等を参照しても教員等の支援を得ても説明できない。
(ii) 世界経済の変動要因の理解	世界経済の変動要因に関して、資料等に頼らず説明でき、授業内容を越えた学修成果を示している。	世界経済の変動要因に関して、資料等に頼らず説明できる。	世界経済の変動要因に関して、資料等を参照しながら説明できる。	世界経済の変動要因に関して、資料等を参照しかつ教員等の支援を得て説明できる。	世界経済の変動要因に関して、資料等を参照しても教員等の支援を得ても説明できない。
(iii) 世界経済への提案	現状を理解した上で世界経済への効果的かつ独創的な提案ができる。	現状を理解した上で世界経済への適切な提案ができる。	現状を理解した上で世界経済への提案が不十分ながらできる。	現状の理解が不十分ながら世界経済への提案が辛うじてできる。	現状の理解が不十分で世界経済への提案ができない。

⑩ 学習到達目標（評価項目）	定期試験 (レポート含む)	小テスト	課題	発表・ 実技	授業への 参加・意欲	その他	合計
総合評価割合	45%		30%		25%		100%
(i) 世界経済の大局的把握	20%		10%		10%		40%
(ii) 世界経済の変動要因の理解	20%		10%		10%		40%
(iii) 世界経済への提案	5%		10%		5%		20%
フィードバックの方法	課題についてコメントを行い討論のベースとして紹介する。						

⑪ 授業計画と学習課題			
回数	授業の内容	授業外の学習課題と時間（分）（※特別な持参物）	
1	イントロダクション・グローバル資本主義とグローバリゼーション	グローバル資本主義とグローバリゼーションに関する考察課題	240分
2	世界経済を分析する基本ツール I	分析ツールの応用問題	240分
3	世界経済を分析する基本ツール II	世界各地への分析ツールの応用	240分
4	世界経済を分析する基本ツール III	分析ツールのメリットと限界に関する考察課題	240分
5	グローバリゼーションのメリットと経済発展	グローバリゼーションと経済的ナショナリズムに関する考察課題	240分
6	投資の世界的スケールでの展開	国際投資の成功例と失敗例に関する考察課題	240分
7	人材の世界的スケールでの移動	グローバル人材に関する考察課題	240分
8	アメリカ経済の分析	アメリカ経済への提案に関する考察課題	240分
9	シンガポール経済の分析	シンガポール経済への提案に関する考察課題	240分
10	中国経済の分析	中国経済への提案に関する考察課題	240分
11	オランダ経済の分析	オランダ経済への提案に関する考察課題	240分
12	スウェーデン経済の分析	スウェーデン経済への提案に関する考察課題	240分
13	フィンランド経済の分析	フィンランド経済への提案に関する考察課題	240分
14	UAE 経済の分析	UAE 経済への提案に関する考察課題	240分
15	まとめ	人類の総体的幸福につながる世界経済構築に関する考察課題	240分

⑫ アクティブラーニングについて
知識定着・確認型 AL を採用する。授業内容をベースにして、独自に調査、考察し課題に対応するなかで本質を見抜き、独創的な提案ができる高度な思考力が身につくような授業を目指す。

※以下は該当者のみ記載する。

⑬ 実務経験のある教員による授業科目
実務経験の概要
実務経験と授業科目との関連性